



# 衣川台なまず通信

発行 衣川台自主防災部  
発行日 平成26年9月5日

衣川台自主防災部  
筆頭副部長 中村十規人

## 第一回防災訓練を終えて

本年度第一回目の防災訓練は、衣川台にお住いの皆様の協力の下、6月8日(日)に、無事終了致しました。少し遅れましたが、80名の皆様から寄せられたアンケートを中心にまとめました。お読みいただき、ご意見を、ご提案をお寄せいただければと思います。

### <訓練概要>

実施日 平成26年6月8日(日)午前9時から11時  
実施場所 衣川台南自治会館並びに西側駐車場  
訓練内容 ①対策本部立上げ訓練 ②安否確認訓練  
③ティスペースの設置 ④家具転倒防止講習

### <訓練の状況>

1. 現在全住民人数は1,061名(世帯数391)の内、在宅人数884名の参加となりました。
2. 安否確認作業は全15組がほぼスムーズに進行し、本部報告時間は早い組で9:11分最も遅い組で9:27分、平均9:16分と昨年度(平均9:18)より少し早くなりました。決して競争する訳ではありませんが安否確認は“正確な安否情報”を“より早く”届けることを目指しておりますのでより一層の連携が必要です。
3. 家具転倒防止の講習には、100余名の参加を頂き、タイミングのいい内容で大変好評でした。がまだまだ準備をされていないご家族も多いのではないのでしょうか。家具の転倒防止は、本人・家族を守る大切な「備え」です。これを機会に前向きに取り組んで頂きたいと思います。尚当自主防災部ではスタート当初からのメンバーで現本部付アドバイザーの青谷氏(4組 TEL 573-2489)に器具の取付け等に支援をお願いしております。対策をお考えの方はご遠慮なく青谷氏にご相談下さい。
4. 訓練の計画や準備につきましては、ほぼ満足して頂いた様です。中でも初めてのティスペースの設置も好評で、ホッと一息ついて頂くと共にコミュニケーションを図って頂く場面になったようです。訓練内容によって毎回は出来ないと思いますが今後も設置を考えていきます。

### <参加者の意見>より抜粋

1. 訓練への参加意欲はまだまだ低調である。G.L自身が右往左往されG員の安否を確認されているケースが散見された。常に住民が大地震発生の恐れを認識する一方事前PRを徹底すべきである。自宅や

### アンケート項目と( )内評価点

- 1. 安否確認はスムーズに出来たか (4.0)
- 2. 事前説明会はよく理解できたか (4.1)
- 3. 安否確認の本部報告、受付はスムーズに出来たか (4.4)
- 4. 本部設置、本部への連絡訓練はスムーズにできたか (3.9)
- 5. 家具転倒防止講習は参考になったか (4.0)
- 6. 訓練の計画や準備は良かったか (3.9)
- 7. 本部、活動班、組長、G.Lの連携は良かったか (4.2)
- 8. 総合的に見た評価は (3.8)

参考に80名のアンケート結果を5段階の平均値で出しました。参加者の傾向値はでていると思います。

家族の安全を確認後すぐ様G.L宅に駆けつけることを頭にたたきこむことが大切である。

2. 向う三軒両隣りを大切に作るG.Lによる安否確認方法は進化をとげ、効率アップしている。しかし実際に大地震が発生した場合、訓練の様に一斉に安否確認は出来ない。又G.Lや組長が大きなリスクを背負っており、年々高齢化が進んでいる現在このままG.L制による一極集中型の安否確認は不可能ではないか。
3. 大地震発生時のケガや火災発生に対応する力や知識・能力は努力されているものの全体的にまだまだ微力で頼りにならない。特に現約80名の活動員の強化、連携が必要である。

#### <まとめ>

全体的に見れば参加者も多く所期の目的は達したと思えますが、まだまだ課題を残しています。実際に大地震が発生すれば、パニックが起こり安否確認も大きな混乱が起きると思われます。自宅や家族の安全確認が出来た後、ソロソロと家の外や隣人の様子を気にし始めるまで時間がかかります。組長やG.LがG員の安否確認もいつ頃出来るか疑問です。又現在の南自治会館一カ所への報告は、少し離れている組には負担となり、さらには高齢化の問題もあります。これら安否確認上の諸問題や避難所（仰木の里東小学校）との連携、要援護者支援のあり方、活動員の能力UPなど多くの課題があります。事務局でも種々検討し、工夫しておりますが、今後益々の皆様方の積極的なご協力をお願いします。と共によりよい自主防災部のあり方に対し、建設的なご意見、ご提案をお寄せ下さい。

#### NEWSアラカルトー最近の新聞より

減災には不可欠な小中学校の耐震化はどうなっているのでしょうか。右表にみられるように全国では92.5%となっており、我が滋賀県は全国平均をかなり上回ってベスト8の98.1%となっています。これは阪神大震災で3883校東日本大震災で7988校が被害にあい沢山の子ども達が犠牲になったことで、補助金交付など早急な対策がとられたことによるものでしょう。しかし安心、安全な街づくりを大命題に掲げている我が行政機関にも感謝です。尚学校別は自治体のホームページで公表されております。

都道府県別の小中学校の耐震化率

順位	都道府県	%
1	愛知県	99.6
2	静岡県	99.5
3	東京都	99.3
4	宮城県	99.1
5	山梨県	98.6
6	三重県	98.5
7	神奈川県	98.4
8	滋賀県	98.1
9	熊本県	97.3
10	埼玉県	97.2
	全国	92.5

※2014年4月1日現在文部科学省調べ

## お知らせ

来る10月5日（日）に本年度第2回目の防災訓練を実施致します。「救出救護」と「初期消火活動」をテーマとして活動班が中心となり準備。詳細は別紙ご案内を全戸配布致します。当日是非ご参加頂くようお願いします。防災活動は正しく“継続は力なり”と思っています。

#### 一口メモ

安否確認にはこんな注意も！！

- ①家族の避難場所もメモしておこう。

家族の中には外出が多い学生や勤め人がいます。万が一の場合に備え、各々の緊急避難場所を決めてメモしておこう。

- ②家族の勤め先の電話番号やメールアドレスもメモしておこう。慌てると思い出せなくなることも。

- ③防災マニュアルを先日配付した防災マップと共に決まった場所に置き、緊急先—公共機関や医療機関—の所在・確認に活用しよう。

#### すばらしいできごと

8月23日（土）の夏祭りで我が自主防災部の強き味方“なまず戦隊防災ジャー”が再び大活躍！！大地震による大損害発生を未然に防ぎ被害を最小限に抑えました。

右のスナッフはその活躍の一場面です。熱演頂いた方々は須藤ご夫婦（2組）鍋島（11組）吉田ご夫婦（8組）藤原（5組）飯田（5組）江原（15組）田村（7組）濱野（5組）の皆様でした。ありがとうございます。

※当寸劇のDVDがあります。観たい方は須藤氏（TEL 573-5359 まで）

